

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立枚方高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 573 -0027

E-mail : SMTP:Hirakata-ha@sbox.pref.osaka.lg.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/hirakata/

児童生徒数：男子 423 名 女子 565 名 合計 988 名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

* 世界で一番大きな授業実施

5月 対象 1年生2クラス

現代社会の授業の一環として、1年生国際教養科2クラス対象に授業を実施した。現代社会の「国際社会と人類の課題」という単元での民族と紛争、難民、飢餓に関する学習の一環として、世界の識字率、教育の現状についての理解を深め、今後の学習へのインセンティブを高めることを目的に、授業を実施した。この2クラスは国際教養科という国際関係学科であり、異文化理解、多文化共生教育については生徒の方にもとよりかなりのモチベーションがあり、きわめて活発に意見交換がなされ、大変好評であった。

* オーストラリア語学研修の事前研修としての授業実施。

本校は例年、夏季休暇を利用して、およそ2週間、オーストラリアメルボルン郊外で滞在研修を行っている。目的は語学研修を中心とした国際理解である。4月以降、およそ10回の研修を行うが、そのうちの一回はオーストラリアの地理、歴史の学習に充てている。その教材として社団法人日本ユネスコ協会連盟編の「守ろう地球のたからもの」のウルル＝カタ・ジュタ（エアーズロック）の図版をとりあげ、文化遺産を守り伝えてきたオーストラリア先住民の思いにふれ、オーストラリアの過去と現在を学び、多文化共生社会の現状を学習した。本校におけるオーストラリア滞在研修は、20名を対象に夏季休業中に実施されるが、語学研修よりも現地にホームステイしてその文化をトータルに実感、理解することを目的にしている。

* イングリッシュハウスの試み

国際理解、異文化理解のための試みとして本校のセミナーハウスを利用して「イングリッシュハウス」という企画を実施した。生徒会執行部の生徒とESSクラブが中心となり、留学生とNETの先生に協力を要請して、セミナーハウスでオールイングリッシュ（日本語厳禁）でゲーム、スピーチを行うものであった。本校生徒の特徴として、人懐こく、あまり物怖じをしない。このプログラムでもそれはいかんなく発揮され、なかなかの盛り上がりを見せた。残念ながら英語の能力は全般に決して高くなく、言葉による意思疎通はなかなか困難であり、イングリッシュよりもボディランゲージに頼る部分の方が大きかったようだが、最初の試みとしてはまずまずなのかとも思った。

今後、参加者を増やすとともに、高大連携を実施している大学に要請して、留学生との交流の機会を増やし、これに参加してもらうなど、一層活発にしていくことを考えている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ✓ 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)